

## 遠山郷における観光施設等の状況について

### 1 しらびそ高原施設の取組について

令和2年度は、コロナ禍によって県外客が大幅に減少した一方、県内から例年にない多くの来客があり、アンケートやスタッフの聞き取りから、近くにいなながら魅力を再発見した等の宿泊客からの声があった。また、星空観察を行うダークナイトツアー企画は好評であり、今後の誘客促進の可能性を見出すことができた。これを受け、地域外へのPRに留まらず、地元・近隣利用者の拡大に向けた広報宣伝活動を支援していく。

令和3年度については、南アルプスの雄大な自然や景観などを感じていただくため、手つかずに近い自然環境や、澄んだ星空等の固有の資源を活用した魅力あるツアー等を南信州観光公社の知見を得ながら企画し誘客に努める。また、訪れたお客様へのサービスの向上を図るため、スタッフの増強を図りながら休業中の軽食コーナーの再開等昼食の提供に向けて準備を進めていく。

#### (1) 令和3年度の経営計画

軽食コーナーを再開させるため新たな従業員を確保するとともに、宿泊については3,100泊を目標として令和3年4月17日のオープンに向けて、令和3年2月1日から予約を開始している。また、OTAの活用、県内や近隣利用者へ向けた情報発信を行っていく。

星空をテーマにした観察会については、5月から毎月計画し、更に磨き上げながら当地の強みを前面に誘客を図る。

令和3年度	計 画
営業期間	4月17日（土）～11月14日（日）
宿泊数	3,100泊
キャンプサイト利用	4月24日から受け入れを予定（800サイト）
昼間の軽食	日帰り客向けに軽食を提供予定（7,000食） 大空企画内で新たな加工品を製造し提供
売上目標	55,900千円
予約受付	自社ウェブ（リニューアル検討中）、OTA、バスツアー、メール・電話
食事メニュー	季節ごとの地元食材をふんだんに使った春・夏・秋のメニュー
スタッフ	常勤10名（季節雇用含）、繁忙期のパート雇用、宿直者数名

#### (2) 労務管理について

就業規則の変更を行い、変形労働時間制の届出を行うとともに、時間外労働については、労働基準法を厳守し徹底した労務管理を行っていく。

#### (3) 社員教育について

オープン前の期間に南信州観光公社の協力を得て社員教育プログラムを実施するとともに、他社が経営するホテルでの研修や避難誘導訓練及び食中毒処理対応講習会を計画している。

#### (4) 飯田市産業経済部金融政策課の分析

##### ① 事業計画について

- ・経営陣については、それぞれのキャリア（地元との繋がり、経営者としての経験、業界独自のノウハウ等）を生かし補完し合いながら組織運営をしている。特に昨年9月に新たな従業員が加わった以降は、月1回の定例会の開催・各施設の代表者からの定例報告の徹底といったように、組織としてPDCAを回す基礎を固める動きを加速させている様子がうかがえる。モチベーションも高く、連携が継続的に機能すれば十分に力を発揮できると考えられる。
- ・マーケティング戦略や商品開発（含む客単価の向上）といった営業面の戦略・戦術ノウハウについては、社外取締役にて代表が参画している南信州観光公社が全面的に支援をしている

状況である。

- ・実行に移すための運営面＝オペレーションについては、現場リーダーの育成、経営陣を含めた社内全員のスキル向上（教育機会の設定）、料理長による料理の原価管理、SNS 活用など改善すべき点はあるが、会社としての課題認識はできており、「誰が、いつまでに、何をし、どんな状態にする」という認識をチームで共有しコントロールしていくことがカギとなる。

② 財務計画について

- ・経営実態は厳しい状況であり、また新型コロナウイルス感染症の影響や天候不順など不確定要素も多い業種であるが、実態に即した来季の事業計画を完成させ、関係機関（者）がそれぞれの長所を出し合って連携すれば安定した経営の実現は可能と思われる。
- ・令和元年度の実績から、天の川単体の損益分岐点売上高を 48,045 千円と試算した。おおむね売上高 50,000 千円が天の川の当面の目標といえる。
- ・また、客数が増えていくとオペレーション（具体的にはスタッフの連携や生産性の向上、モチベーションアップ）についてのケアが大切になってくると考えられるので、後回しにならないよう、その点についてケアできるよう支援する必要がある。

2 上村観光施設の状況について

指定管理期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日

施設	主な内容	期間	指定管理者
飯田市上村簡易宿泊施設 高原ロッジ下栗	・令和2年度施設改修実施（10～12月） ・指定管理期間満了後は、現施設責任者が直接指定管理を受けたいと申し出あり	3年	株式会社 大空企画
飯田市上村しらびそ高原施設（天の川）	・令和3年度公衆トイレの洋式化 ・コロナ対策の徹底に伴う修繕実施 ・軽食コーナーの再開に向け準備 ・従業員の確保		
飯田市上村大島河原河川公園	・7月豪雨災害により休業中 ・再開に向けて検討中		
飯田市特産品直売施設上村農産物直売施設（上村特産品直売所）	・しらびそ高原施設での軽食コーナー再開に向けて、五平餅製造を行うことで調整中		
飯田市上村大平公園	・施設の老朽化に伴い指定管理期間満了後の継続について検討中		
飯田市上村農産物直売施設 はんば亭	・令和3年度屋根改修（公衆トイレ含む）		
飯田市上村農産物直売施設 村の茶屋	・令和3年度屋根改修 ・池等環境整備の実施 ・そば道場での製麺許可取得のための改修を予定		
飯田市上村若者センター（喫茶かみ）	・経営内容（営業時間短縮等）について検討中		
飯田市農産物加工施設上村農産物加工施設（農業生産物貯蔵施設）	・上村小学校の給食（パン）を担当している		

### 3 道の駅遠山郷（かぐらの湯）の課題と今後の進め方

#### (1) 遠山郷観光振興ビジョン（素案）

目指す姿：「玄関口が目的地—山岳文化の里、遠山郷」

三遠南信自動車道をはじめとする交通インフラが充実すれば、遠山郷は東海方面から信州に入る玄関口となり、訪問客数の大幅な増加が見込まれる。訪問客の増加は、遠山郷の魅力や価値を多くの人に知ってもらうチャンスとなる一方、観光地としてのコンテンツやサービスはこれまで以上に高い質が求められる。遠山郷がもつ「山」「伝統」「人」の価値を一人ひとりが自覚し、誇りをもって磨き上げていくことができれば、単なる玄関口や通過点ではなく、遠山郷を目的地に何度も足を運ぶファンが増える。基幹産業としての観光業が交流・定住人口の増加につながり、住民の生き生きとした姿が遠山の魅力を更に高めていき、こうした好循環により、持続可能な遠山郷が実現することを目指す。

#### (2) 道の駅遠山郷の機能とコンセプトの策定

遠山郷観光振興ビジョンや第2次南信濃地区基本構想との整合を図るとともに、地域と一緒に道の駅遠山郷の機能を中心に議論を進めコンセプトを策定する。

他地域道の駅の情報収集や専門家から意見聴取、三遠南信自動車道全線開通後の人の流れなどのシミュレーションを行う中で、道の駅遠山郷のコンセプトや必要な機能などを検討する。

#### (3) 道の駅遠山郷（かぐらの湯）の運営形態

次期指定管理者の選定については、地元地域を中心とした、新たな団体等の立ち上げの可能性について地域と協議を進めて行く。

市直営 ⇒ 業務委託・貸し出し（目的外使用） ⇒ 指定管理（全体運営）

#### (4) 源泉の復旧

源泉の復旧に向け、源泉ポンプ交換工事請負契約の債務不履行に係る長野県建設工事紛争審査会の審査状況を注視しつつ、並行して復旧工事については、短時間で確実な方法を検討していく。また、令和2年7月の豪雨災害により被災した送湯管（中橋）の復旧工事を進める。

#### (5) 道の駅遠山郷（かぐらの湯）の大規模改修

施設建設から20年が経過しており、老朽化による大規模改修が必要な時期となっている。老朽化の他に次の課題がある。

- 維持管理費の負担軽減（共用空間や露店風呂が大きすぎる、床暖房施設）
- 施設全体のレイアウト見直し（直売所とトイレの距離、靴を脱がないと食事ができない）
- 直売所の規模見直し（売場が狭く、集客力が弱い。）
- 温泉設備の衛生基準変更による改修
- 道の駅として必要な機能の再整備

- ・休憩機能（利用者が無料で24時間利用できる）

十分な容量を持った駐車場、清潔なトイレ（原則、洋式）、子育て応援施設（ベビーコーナー等）、

- ・情報発信機能

道路及び地域に関する情報を提供（道路、観光、緊急医療等）

- ・地域連携機能

文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設や防災施設

- ・その他

施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化